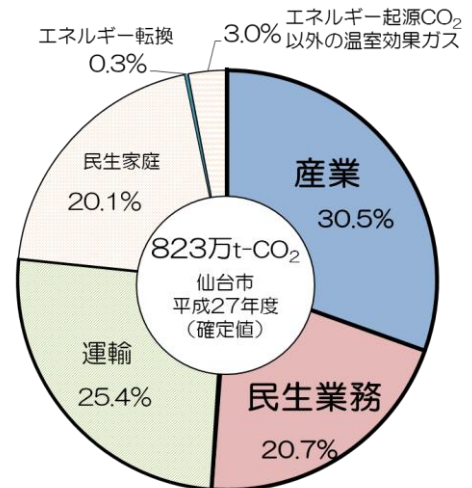


温室効果ガス削減計画書制度モデル事業について

1. 温室効果ガス削減計画書制度

(1) 検討の背景

- 市域の温室効果ガス排出量のうち、事業者（産業と民生業務）が全体の約 50%を占めている。このうち、一定量以上のエネルギーを使用する事業所*のみで全体のおおよそ 4 分の 1 を占める。
- 市域の排出削減を効果的に進めるために、事業者の温室効果ガス削減に向けた仕組みが必要。
- 他自治体においては、事業者の温室効果ガス削減のための仕組みとして、「温室効果ガス削減計画書制度」を導入し、一定の効果を上げていることから、本制度に着目した。
- 仙台市地球温暖化対策推進計画 2016-2020（平成 28 年 3 月策定）では重点プロジェクト 3「快適な暮らしや地域経済を支える省エネ促進」において、「事業者の温室効果ガス及びエネルギーコスト削減に向けた仕組みづくり」を検討することとしている。

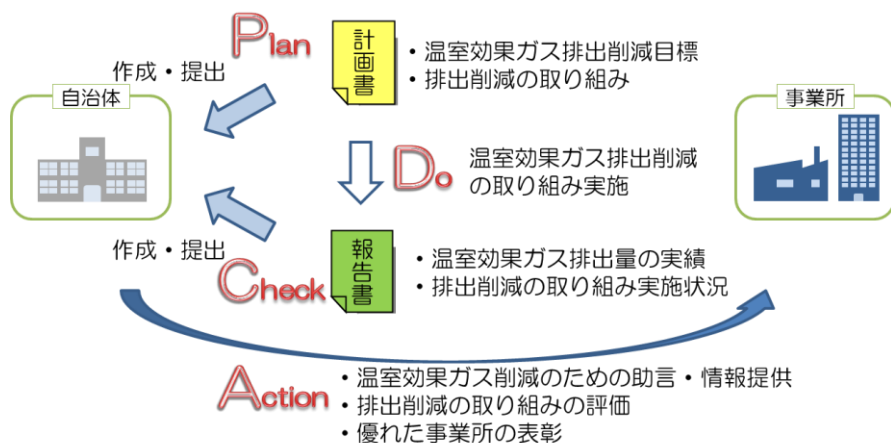


仙台市域の温室効果ガス排出量割合
平成 27 年度（確定値）

※ 「エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）」の指定を受けている事業所（原油換算 1,500kL 以上のエネルギーを使用している事業所）。環境省が公表している最新データ（平成 27 年度）では、仙台市内に 84 事業所。

(2) 計画書制度の概要

- 事業者と行政が協働し、計画的な温室効果ガス及びエネルギーコスト削減を目指す仕組み。
- 事業者から計画書・報告書の提出を求め、自治体からは指導・助言、各種情報の提供などの支援を行いながら、計画的かつ継続的な削減を図る。



2. モデル事業の実施

(1) 目的

計画書制度導入にあたり、課題を整理するとともに、制度内容に関する事業者の意見を聴取する。

(2) 期間

平成 28 年 10 月～平成 30 年 3 月

(3) 参画事業所





市内の省エネ法届出対象事業所のうち、製造業、小売業、宿泊施設、事務所など多様な業種から以下の 10 事業所に参画協力をいただいた。

事業所名	業種
キリンビール(株) 仙台工場	製造業
河北新報印刷(株) 印刷センター	印刷業
日本ファインセラミックス(株) 本社工場	理化学用・工業用陶磁器製造業
東北電力(株) 本店	主として管理事務を行う本社等
(株)藤崎 本館	百貨店、総合スーパー
仙台ターミナルビル(株) エスパル仙台店・ホテルメトロポリタン仙台	貸事務所業
東北大学 工学研究科	大学
宮城県庁舎	行政機関
仙台市立病院	医療機関
仙台市中央卸売市場 食肉市場	と畜場

(日本標準産業分類順)

(4) 取り組みの流れ

- 事業所には、計画書制度のPDCAサイクルに沿って「計画の策定」、「対策の実施」、「実績とりまとめ」に取り組んでいただき、市は、3か月に1回、各事業所を訪問し、助言や情報提供、その時々テーマについて意見交換等を実施した。

	平成 28 年度		平成 29 年度			
	10～12 月	1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
計画の策定						
対策の実施						
実績とりまとめ						
モデル事業総括						

□：事業所訪問の実施時期

(5) 取り組みの具体内容

- 1 計画の策定（平成 28 年 10 月～12 月） 事業所訪問：11 月 18 日～12 月 14 日
 - ・ 事業所は、市が提示した計画書様式（別紙 P. 1～12）に、事業所の概要、温暖化対策推進の方針・推進体制、温室効果ガス排出量の実績値と目標値、削減対策の実施計画などを記入
 - 市からは書類作成負担軽減のため、省エネ法報告書からの読み込みツールや記入例を準備
 - ・ 計画書の作成方法や計画書様式の改善点等について意見交換を実施

【計画書作成に関する主な意見】

	ご意見など
目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法の削減目標は原油換算のエネルギー使用量のみ。温室効果ガス排出量の目標をどう定めるか難しい。 ・温室効果ガス排出量の削減目標を具体的に記載するのが難しい場合、定性的な目標にすることを可としては。
基準年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市の地球温暖化対策推進計画の基準年度に合わせてはどうか。

- 2 対策の実施（平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月） 事業所訪問：2 月 3 日～2 月 23 日
 - ・ 計画書に記載している削減対策についてのヒアリング、現地設備確認を実施
 - ・ 各事業所がこれまでに実施した効果的な事例を収集

【主なヒアリング結果】

	優良事例	課題
推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の省エネを進めるための省エネ委員会のメンバーを定期的に入れ替え、社員の意識向上を図っている 	
エネルギー使用量の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の細分化して把握し、前年度との比較や要因分析などを実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細なデータを収集しているが、解析や活用には至っていない
省エネルギー教育	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネに関する DVD 等の教材を活用し、事業所内の省エネ教育を実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・テナント入居者の省エネ意識の向上が難しい

3 4 対策の実施（平成 29 年 4 月～9 月）

事業所訪問：6 月 16 日～7 月 19 日、9 月 13 日～10 月 24 日

- ・ 外部専門業者が事業所訪問に同行し、ヒアリングや削減対策への助言を実施
 - ヒアリングや現地確認結果から、事業所毎に訪問調査報告書（別紙 P. 13～16）を作成し、助言や情報提供を実施
 - 各事業所の取り組み事例を広く紹介するため、市ホームページに事例を掲載（別紙 P. 17～31）
- ・ 計画書制度の制度内容について、意見交換を実施

【訪問調査報告書による助言・情報提供】

訪問調査報告書による助言・情報提供の事例
<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水配管の保温、ボイラー蒸気配管の保温 ・蒸気の必要量の確認、ボイラーの運転台数、効率的な運転方法の確認 ・個別空調コントローラに設定温度や稼働時間等の表示、換気設備の運転方法、運転基準の掲示 ・居室内の温度、CO2 濃度の設定範囲内での外気取入量の緩和 ・従業員やテナントへの省エネ行動啓蒙ポスターの掲示（省エネ行動とその経済的効果を併せて掲示） ・エネルギー使用量に関する情報を従業員に周知 ・施設利用者に対する省エネ対策の周知・啓蒙の表示

訪問調査報告書を受けての対応
<ul style="list-style-type: none"> ・助言にあった取り組みを予算計上し進める ・個別空調の設定温度について、ガイドラインを作成し社員へ啓発する ・事業所内の省エネルギー教育を実施するため資料を収集している

【計画書制度に関する主な意見】

	ご意見など
削減目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を拡大すると温室効果ガス排出量は増加してしまうため、原単位による目標設定も必要。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで削減努力をしてきた事業所が評価されないのは望ましくない。削減努力を拾い上げるような制度が望ましい。 ・事業の拡大で排出量が増加する場合のことを考慮すると、排出量の削減を重視した評価方法でないことが望ましい。
表彰	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰されることで売上増に繋がるなど、直接的なメリットに反映されると良い。 ・表彰により補助金等が優遇されるようなものがあると良い。 ・表彰されることで地球温暖化対策について仙台市からお墨付きをいただいている、というアピールが出来るような認定マーク・制度が有効ではないか。

- 5 実績とりまとめ（平成 29 年 10 月～12 月） 事業所訪問：11 月 30 日～12 月 20 日
- ・ 事業所は、市が提示した報告書様式（計画書様式と同一、別紙 P. 1～12）に、温室効果ガス排出量の実績値や削減対策の取り組み状況などを記入
 - 計画書作成時と同様に、省エネ法報告書からの読み込みツール等を準備
 - ・ 報告書の作成方法や報告書様式の改善点等について意見交換を実施

【報告書作成に関する主な意見】

	ご意見など
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した対策による削減量を算出する方法が明示されていると良い。 ・計画書作成時には予定していなかった対策を実施した場合、報告書作成時にどのように記載するか整理が必要。

- 6 モデル事業総括（平成 30 年 1 月～3 月） 事業所訪問：2 月 2 日～2 月 26 日

- ・ モデル事業や計画書制度全般に関する意見交換を実施

【モデル事業に関する主な意見】

	ご意見など
	<ul style="list-style-type: none"> ・書類作成の負担軽減に配慮していたため、負担は大きくはなかった。 ・これまで市側と意見交換する機会はなかったため、今後も意見交換する機会があると良い。第三者の観点から助言をしてくれるのも参考になる。 ・自社の省エネの取り組みを知るきっかけになった。設備担当者とのコミュニケーションのきっかけになった。

【計画書制度に関する主な意見】

	ご意見など
制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「計画書制度」がどういうものなのか、分かりやすい説明資料があると良い。
計画書・報告書の様式	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法定期報告書の作成担当者であれば計画書・報告書を作成することは問題ないが、担当者以外が作成することになれば難しい。分かり易い説明書が必要。
省エネ法定期報告書読込ツール	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法定期報告書の読み込みツールはがあると便利。書類作成の負担が少なくなる。
指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家が設備を確認する機会は今までなかったため、第三者の視点から助言をくれるのが良い。 ・市と定期的に意見交換する機会があった方が良い。自社の取り組みを客観的に見て、評価してくれるのは助かる。 ・制度の見直し等のため事業者の意見を集約する仕組みは必要。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大で排出量が増加する方向であるため、あまり削減量に重きを置いた評価にしないで欲しい。 ・これまでの努力を評価する定性的な評価の仕組みは必要。 ・対策の実施・未実施の判断が難しいため、判断基準が必要。

表彰	<ul style="list-style-type: none"> 市から表彰されることは顧客への売り込み材料となるため、取り組みへのインセンティブとなる。市から表彰されたことが明確に分かるマークなどがあると良い。 表彰されることのメリットとして、売上向上や人材確保に資するものがあると良い。
市ホームページでの取組事例紹介	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所の多くの取り組み事例が掲載されていると参考になる。 ホームページに掲載した際に、事業所の担当者にメール等で知らせてもらえると助かる。
省エネ意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 事業者向けの対策だけでなく、市民向けの啓発も進めることが必要。 経営層に経営課題として認識してもらうことが重要であり、そのきっかけになると良い。
セミナー・勉強会の開催	<ul style="list-style-type: none"> 電力・ガス会社等を集めて機器の展示会や勉強会を開催してもらえると勉強になる。他事業所の見学会も参考になる。

(6) まとめ

○ 定性的な効果

(ア) 新たな削減対策の推進

- 市からの助言を参考に、新たな温室効果ガス削減に向けた取り組みを始めることができた

(イ) 環境行動意識の向上

- 所内でこの取り組みを紹介したことで、従業員の環境意識を向上させる契機となった

(ウ) 対外的なアピール

- 取り組みが市ホームページで紹介されることで、対外的なアピールに繋がった

(エ) その他

- 自社の省エネの取り組みを知るきっかけとなった
- これまで交流の少なかった設備担当者とのコミュニケーションのきっかけとなった

○ 定量的な効果

	事業所	増減幅
設備更新等の取り組みにより削減	5 事業所	1%～6%減
気候等の影響により微増	2 事業所	1%～2%増
事業拡大等の影響により増	2 事業所(うち 1 事業所は原単位で削減)	16%～30%増

○ 検討課題

- 制度の分かりやすい説明
- 書類作成など事業者負担が過大にならない仕組みづくり
- 助言や情報提供など、事業者の削減対策の効果的な支援のあり方
- 排出量だけでなく削減の取り組みを評価する制度のあり方
- 優良事業所の表彰など、事業者の取り組み意欲向上のための方策

温室効果ガス削減計画書制度モデル事業 基本対策リスト

項目	対策番号	分類	対策	対策例	
必須	010001	一般管理事項	推進体制の整備	省エネ担当者の選任 省エネ計画の策定、PDCAサイクル管理 環境マネジメントシステムの導入	
	010002		機器管理台帳、各種図面等の整備	機器管理台帳の整備 各種図面の整備 保守点検計画の整備	
	010003		エネルギー使用量の把握	エネルギーフローの管理 日報、週報、月報の作成 エネルギー消費原単位の算出	
	010004		省エネルギー教育の実施	省エネ目標、対策、実績の周知 定期的な省エネ研修会の開催	
選択	020101	ボイラー、工業炉、熱交換器等	空気比の管理	管理標準の作成・変更 空気比の改善	
	020102		効率管理	管理標準の作成・変更 運転台数の調整 各設備の負荷の適正化 高効率設備への負荷の集約化	
	020103		燃料の管理	燃料の性状に応じた粒度、水分、粘度等の管理	
	020104		蒸気圧力・温度・供給量の管理	管理標準の作成・変更 必要とされる圧力・温度・量の適正化 供給される圧力・温度・量の適正化 不要時の蒸気バルブの閉止	
	020105		ボイラーの給水及びブローの管理	管理標準の作成・変更 定期的な水質管理 ブロー量の低減	
	020106		蒸気配管の保温・断熱強化	蒸気配管からの蒸気漏れ防止 蒸気配管の断熱強化	
	020107		蒸気バルブ等の保温・断熱強化	負荷設備からの蒸気漏れ防止 蒸気バルブ等の断熱強化	
	020108		スチームトラップ管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検 清掃・整備	
	020109		蒸気ドレンの排熱回収の管理	管理標準の作成・変更 排熱回収状況の管理 蒸気ドレンをボイラー給水等に利用、熱交換器等による廃熱回収	
	020110		排ガスの廃熱回収の管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検 排ガス温度の管理 ボイラー用給水予熱器の設置 ボイラー用空気予熱器の設置 工業炉に空気予熱器の設置	
	020111		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検 蒸気漏洩箇所の補修 ばいじん、スケールその他付着物の除去	
	020112		その他	工業炉表面の断熱強化 空気等の侵入防止 煙道等の断熱強化 伝熱面の性状、形状の改善、伝熱面積の増加 被加熱材の予備処理の実施	
	020201		空気調和設備、換気設備	設定温度、湿度の管理	設定温度の変更 再熱除湿運転の停止
	020202			外気量の管理	季節毎の外気導入量の管理 外気冷房の利用
	020203	運転時間の管理		空調運転時間の見直し 不要時の換気停止 換気回数の見直し 換気設備のスケジュール運転	
	020204	運転管理		共用部等の設定温度緩和 非使用部の空調停止 回転数制御の設定変更 台数制御の設定・変更	
	020205	効率管理		運転機器・台数の適正化 負荷の変動に応じた流量、圧力等の設定 冷房期の温水運転停止 暖房期の冷水運転停止 冷却塔ファンの運転台数の調整	
	020206	保安全管理		管理標準の作成・変更 フィルター等の清掃 定期的な保守・点検 漏洩箇所の修理	
	020301	熱源設備、熱搬送設備	燃焼設備の運転管理	空気比の改善 熱源設備の運転機器・台数の適正化	
	020302		効率管理	管理標準の作成・変更 冷水出口温度の緩和 温水出口温度の緩和 定期的な成績係数(COP)の算出 冷却水温度の適正な設定	
	020303		補機の運転管理	冷却水量の調整 冷却塔の清掃 冷却水の水質管理	
020304	熱搬送設備の運転管理		冷温水ポンプの運転台数の調整、自動制御 冷温水ポンプの回転数制御		
020305	配管等の保温・断熱強化		蒸気配管からの蒸気漏れ防止 負荷設備からの蒸気漏れ防止		

温室効果ガス削減計画書制度モデル事業 基本対策リスト

項目	対策番号	分類	対策	対策例
	020401	コンプレッサ	運転管理	管理標準の作成・変更 吐出圧の適正化 圧縮空気の噴射時間の変更(短縮) エアブローの適正管理 非稼働エリアの供給元弁の閉止 パーズ設定の見直し 運転台数の設定・変更
	020402		吸気管理	コンプレッサ室の吸気口の点検・清掃 吸気温度の低減
	020403		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検 空気漏れ箇所の修理 フィルター等の清掃
	020501	ポンプ	運転管理	閉止弁の開閉操作の実施 発停制御による流量の削減 吐出弁の開度調整 回転数制御の設定変更 台数制御の設定・変更
	020502		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検 水漏れ箇所の修理 フィルター等の清掃
	020601	ファン、ブロワ	運転管理	発停制御による風量の削減 ダンパの開度制御 吸込ベーンコントロール制御 台数制御の設定・変更 回転数制御の設定変更
	020602		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検 空気漏れ箇所の修理 フィルター等の清掃
	020701	照明器具	運用管理	管理標準の作成・変更 ランプ間引き 不要時間帯、不要場所の消灯 昼光利用
	020702		センサー、スイッチの細分化	人感センサーの導入 スイッチの細分化
	020703		点灯時間の管理	運用ルール徹底
	020704		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検 照明器具の清掃 適正時期のランプ交換
	020705		その他	高効率ランプへの更新 灯具毎にプルスイッチの取付 タイムスケジュール制御の導入
	020801	発電設備	効率管理	管理標準の作成・変更
	020802		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検
	020901	コージェネレーション設備	効率管理	管理標準の作成・変更 総合効率の管理
	020902		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検
	021001	受変電設備	変圧器の需要率管理	管理標準の作成・変更 変圧器の稼働台数調整 不使用変圧器の停止 負荷の統合、軽負荷変圧器の停止
	021002		受電端力率管理	管理標準の作成・変更 自動力率調整装置の設定変更 進相コンデンサの入切操作
	021003		負荷率管理	管理標準の作成・変更 デマンド制御の導入 設備の運転時間見直しによる負荷平準化
	021004		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検
	021101	昇降機	運転管理	運転台数のスケジュール管理
	021102		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検
	021201	給湯	効率管理	管理標準の作成・変更 給湯温度の変更 給湯圧力の変更 給湯期間・時間の変更
	021202		保安全管理	管理標準の作成・変更 定期的な保守・点検
	021301	事務用機器等	事務所機器の待機電力管理	待機時間の見直し 低電力モードの設定 不要時電源OFFの徹底
	021401	建物	断熱性、気密性の向上	ブラインド、カーテン等の適正運用 断熱性能の向上(二重窓、複層ガラス、断熱フィルム等)
	021501	再生可能エネルギー	太陽エネルギーの利用	太陽光発電の導入 太陽熱利用システム(給湯、暖房)の導入
	021502		未利用熱エネルギーの利用	地中熱利用システム(給湯、暖房)の導入 下水熱利用システム(給湯、暖房)の導入
	021503		その他再生可能エネルギーの利用	その他再生可能エネルギーの導入

温室効果ガス削減計画書（実施状況報告書）の作成について

はじめに

本ファイルは計画策定時と実施状況報告時に兼用します。
今回作成する様式を以下のプルダウンから選択してください。

計画書/報告書	計画書
対象年度	モデル事業期間分

1. 計画書の作成

- ・「計画書兼報告書」～「その他ガス排出量」シートの■色の部分を入力してください。
- ・省エネ法で提出した定期報告書のデータを読み込むことで、一部データの入力を省略できます。下の「省エネ法定期報告書データ（計画書用）」をクリックしてください。

**省エネ法定期報告書データ
（計画書用）** 

・平成28年度に作成・提出した「平成27年度分実績」のファイルを指定すると、最新の事業所情報（事業所名称、住所、業種コード等）、基準年度（平成27年度）のエネルギー使用量データが読み込まれます。 ※注意事項

2. 実施状況報告書の作成

- ・「目標と結果（エネ起CO2）」～「その他ガス排出量」シートの■色の部分を入力してください。
- ・省エネ法で提出した定期報告書のデータを読み込むことで、一部データの入力を省略できます。下の「省エネ法定期報告書データ（報告書用）」をクリックしてください。

**省エネ法定期報告書データ
（報告書用）** 

・平成28年度分実績を読み込む場合は、平成29年度に作成・提出したファイルを指定してください。
「使用量算定シート（第1年度～第3年度）」シートに、報告対象年度のエネルギー使用量データが転記されます。 ※注意事項

注意事項

読み込みが可能なファイルは以下の形式です。

- ・定期報告書作成支援ツール(エクセル形式) 指定-第1表～第10表ファイル(工場、事業場用)
 - ・定期報告書作成支援ツール(アプリ形式) 事業所データxmlファイル(保存用)及び(提出用)
- ※上記以外のファイルは読み込みできませんので手入力が必要となります。

温室効果ガス削減対策計画書（モデル事業期間分）

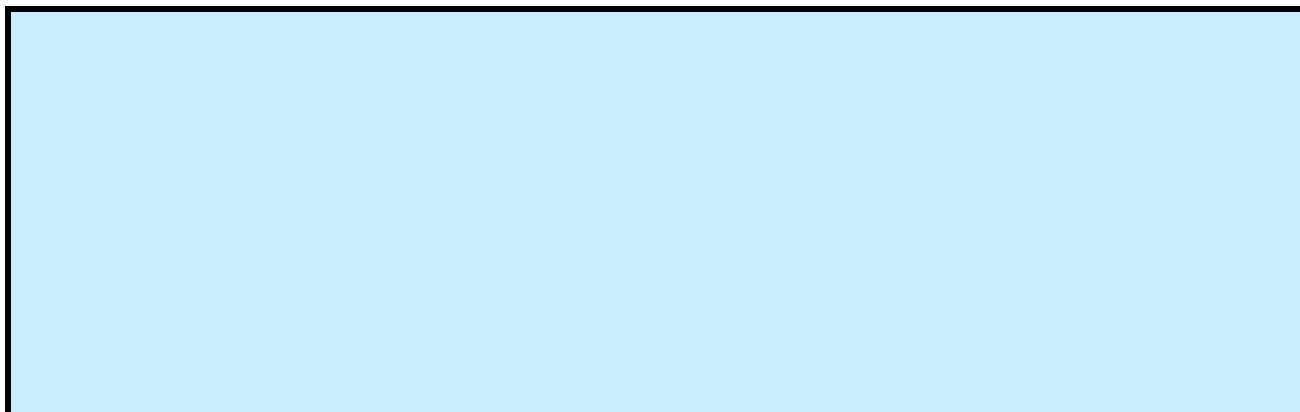
1 事業所の概要

事業者の名称						
事業所の名称						
事業所の所在地						
主たる事業					産業分類番号	
事業所代表者	氏名			役職名		
延床面積			m ²			
基準年度	エネルギー使用量 (原油換算)		kℓ	エネルギーの使用 に係る原単位		kℓ/
2015年度	CO ₂ 排出量		tCO ₂	その他ガス排出量		tCO ₂
第1年度	エネルギー使用量 (原油換算)		kℓ	エネルギーの使用 に係る原単位		kℓ/
2016年度	CO ₂ 排出量		tCO ₂	その他ガス排出量		tCO ₂
第2年度	エネルギー使用量 (原油換算)		kℓ	エネルギーの使用 に係る原単位		kℓ/
2017年度	CO ₂ 排出量		tCO ₂	その他ガス排出量		tCO ₂
第3年度	エネルギー使用量 (原油換算)		kℓ	エネルギーの使用 に係る原単位		kℓ/
2018年度	CO ₂ 排出量		tCO ₂	その他ガス排出量		tCO ₂

2 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	モデル事業では省略
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

3 温室効果ガス排出抑制のための基本方針



4 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の1 エネルギー起源CO₂の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	t-CO ₂			単位	
2015 年度	目標排出量	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標削減率	%	目標原単位		t-CO ₂ /	
2018 年度			目標削減率		%	
目標設定に関する説明						
第1年度	排出量	t-CO ₂			単位	
	削減率	%	原単位		t-CO ₂ /	
2016 年度			削減率		%	
排出量等の増減理由						
第2年度	排出量	t-CO ₂			単位	
	削減率	%	原単位		t-CO ₂ /	
2017 年度			削減率		%	
排出量等の増減理由						
第3年度	排出量	t-CO ₂			単位	
	削減率	%	原単位		t-CO ₂ /	
2018 年度			削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

5の2 エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	t-CO ₂			単位	
2015 年度	目標排出量	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標削減率	%	目標原単位		t-CO ₂ /	
2018 年度			目標削減率		%	
目標設定に関する説明						
第1年度	排出量	t-CO ₂			単位	
	削減率	%	原単位		t-CO ₂ /	
2016 年度			削減率		%	
排出量等の増減理由						
第2年度	排出量	t-CO ₂			単位	
	削減率	%	原単位		t-CO ₂ /	
2017 年度			削減率		%	
排出量等の増減理由						
第3年度	排出量	t-CO ₂			単位	
	削減率	%	原単位		t-CO ₂ /	
2018 年度			削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

6の1 基本対策の実施計画・実施状況

項目	対策番号	分類	対策名	基準年度	実施予定	第1年度	第2年度	第3年度
必須	010001	一般管理事項	推進体制の整備					
必須	010002	一般管理事項	機器管理台帳、各種図面等の整備					
必須	010003	一般管理事項	エネルギー使用量の把握					
必須	010004	一般管理事項	省エネルギー教育の実施					
選択								
選択								
選択								
選択								
選択								
選択								
選択								
選択								
選択								
選択								
使用設備			<input type="checkbox"/> 照明設備 <input type="checkbox"/> 空調機 <input type="checkbox"/> 熱源設備	<input type="checkbox"/> ボイラー <input type="checkbox"/> 工業炉 <input type="checkbox"/> コンプレッサ	<input type="checkbox"/> ポンプ <input type="checkbox"/> ファン・ブローア <input type="checkbox"/> 発電設備			

6の2 基本対策以外の削減対策実施計画・実施状況

番号	ガス区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

7 エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガスの排出状況(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度		第1年度		第2年度		第3年度	
	2015	年度	2016	年度	2017	年度	2018	年度
非エネルギー起源CO ₂								
CH ₄								
N ₂ O								
HFC								
PFC								
SF ₆								
NF ₃								
合計								

エネルギー起源温室効果ガス排出量等算定表

基準年度

2015

年度

事業者名		原油換算エネルギー使用量	kl
事業所名		温室効果ガス排出量	t-CO ₂
所在地			

エネルギー年間使用量

燃 料 及 び 熱								
燃料及び熱の種類		年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)	
原油					kl			
	うちコンデンセート(NGL)				kl			
揮発油(ガソリン)					kl			
ナフサ					kl			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
石油アスファルト					t			
石油コークス					t			
石油ガス	液化石油ガス (LPG)				t			
	石油系炭化水素ガス				千Nm ³			
可燃性 天然ガス	液化天然ガス (LNG)				t			
	その他可燃性天然ガス				千Nm ³			
石炭	原料炭				t			
	一般炭				t			
	無煙炭				t			
石炭コークス					t			
コールタール					t			
コークス炉ガス					千Nm ³			
高炉ガス					千Nm ³			
転炉ガス					千Nm ³			
都市ガス					千Nm ³			
テナント空調エネルギー推計値(燃料不明)					GJ			
その他の燃料()								
その他の燃料()								
蒸気(産業用)					GJ			
蒸気(産業用を除く)					GJ			
温水					GJ			
冷水					GJ			
小 計		-	-	-	-			
電 気								
電気の種類		実排出 係数	年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)
一般電気 事業者	昼間買電					千kWh		
	夜間買電					千kWh		
その他	自家発電					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
小 計					千kWh			
合 計			-	-	-			

エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値

名称	数値	単位
----	----	----

事業者名		原油換算エネルギー使用量	kl
事業所名		温室効果ガス排出量	t-CO ₂
所在地			

エネルギー年間使用量

燃 料 及 び 熱								
燃料及び熱の種類		年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)	
原油					kl			
	うちコンデンセート(NGL)				kl			
揮発油(ガソリン)					kl			
ナフサ					kl			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
石油アスファルト					t			
石油コークス					t			
石油ガス	液化石油ガス (LPG)				t			
	石油系炭化水素ガス				千Nm ³			
可燃性 天然ガス	液化天然ガス (LNG)				t			
	その他可燃性天然ガス				千Nm ³			
石炭	原料炭				t			
	一般炭				t			
	無煙炭				t			
石炭コークス					t			
コールタール					t			
コークス炉ガス					千Nm ³			
高炉ガス					千Nm ³			
転炉ガス					千Nm ³			
都市ガス					千Nm ³			
テナント空調エネルギー推計値(燃料不明)					GJ			
その他の燃料()								
その他の燃料()								
蒸気(産業用)					GJ			
蒸気(産業用を除く)					GJ			
温水					GJ			
冷水					GJ			
小 計		-	-	-	-			
電 気								
電気の種類		実排出 係数	年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)
一般電気 事業者	昼間買電					千kWh		
	夜間買電					千kWh		
その他	自家発電					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
小 計					千kWh			
合 計			-	-	-			

エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値

名称	数値	単位
----	----	----

事業者名		原油換算エネルギー使用量	kl
事業所名		温室効果ガス排出量	t-CO ₂
所在地			

エネルギー年間使用量

燃 料 及 び 熱								
燃料及び熱の種類		年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)	
原油					kl			
	うちコンデンセート(NGL)				kl			
揮発油(ガソリン)					kl			
ナフサ					kl			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
石油アスファルト					t			
石油コークス					t			
石油ガス	液化石油ガス (LPG)				t			
	石油系炭化水素ガス				千Nm ³			
可燃性 天然ガス	液化天然ガス (LNG)				t			
	その他可燃性天然ガス				千Nm ³			
石炭	原料炭				t			
	一般炭				t			
	無煙炭				t			
石炭コークス					t			
コールタール					t			
コークス炉ガス					千Nm ³			
高炉ガス					千Nm ³			
転炉ガス					千Nm ³			
都市ガス					千Nm ³			
テナント空調エネルギー推計値(燃料不明)					GJ			
その他の燃料()								
その他の燃料()								
蒸気(産業用)					GJ			
蒸気(産業用を除く)					GJ			
温水					GJ			
冷水					GJ			
小 計		-	-	-	-			
電 気								
電気の種類		実排出 係数	年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)
一般電気 事業者	昼間買電					千kWh		
	夜間買電					千kWh		
その他	自家発電					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
小 計					千kWh			
合 計			-	-	-			

エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値

名称	数値	単位
----	----	----

事業者名		原油換算エネルギー使用量	kl
事業所名		温室効果ガス排出量	t-CO ₂
所在地			

エネルギー年間使用量

燃 料 及 び 熱								
燃料及び熱の種類		年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)	
原油					kl			
	うちコンデンセート(NGL)				kl			
揮発油(ガソリン)					kl			
ナフサ					kl			
灯油					kl			
軽油					kl			
A重油					kl			
B・C重油					kl			
石油アスファルト					t			
石油コークス					t			
石油ガス	液化石油ガス (LPG)				t			
	石油系炭化水素ガス				千Nm ³			
可燃性 天然ガス	液化天然ガス (LNG)				t			
	その他可燃性天然ガス				千Nm ³			
石炭	原料炭				t			
	一般炭				t			
	無煙炭				t			
石炭コークス					t			
コールタール					t			
コークス炉ガス					千Nm ³			
高炉ガス					千Nm ³			
転炉ガス					千Nm ³			
都市ガス					千Nm ³			
テナント空調エネルギー推計値(燃料不明)					GJ			
その他の燃料()								
その他の燃料()								
蒸気(産業用)					GJ			
蒸気(産業用を除く)					GJ			
温水					GJ			
冷水					GJ			
小 計		-	-	-	-			
電 気								
電気の種類		実排出 係数	年間 使用量	外部 供給量	実使用量	単位	熱 量 (GJ)	排 出 量 (t-CO ₂)
一般電気 事業者	昼間買電					千kWh		
	夜間買電					千kWh		
その他	自家発電					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
	()					千kWh		
小 計					千kWh			
合 計			-	-	-			

エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値

名称	数値	単位
----	----	----

温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

【モデル事業所 訪問調査報告書】

事業所名称		訪問日時	年 月 日
			〇:〇~〇:〇
出席者	事業所		
	仙台市		

年 月 日

仙台市 環境局 環境企画課

【ヒアリング結果】

1. 事業所等の概要

事業所の名称					業種		
事業所の所在地							
担当者連絡先	担当者名						
	所属・部署名						
	電話番号				FAX番号		
	E-mailアドレス						
事業内容および操業状況	生産品目 (業務系事業所以外)						
	エネルギー 原単位の推移	(1) 原単位の分子	基準年度の値	2016年度の値	2017年度の値	単位	
		温室効果ガス排出量				t-CO2	
	(2) 原単位の分母	基準年度の値	2016年度の値	2017年度の値	単位		
	(1) / (2) 原単位	基準年度の値	2016年度の値	2017年度の値	単位		
	温室効果ガス排出量				t-CO2		
	従業員数		人	延床面積		m ²	
	操業時間						
エネルギー使用量の把握状況	種類別	設備別	エネルギー フロー作成	管理標準	あり	なし	作成途切
特記事項							

2. 主要な設備について

ボイラ		熱源設備		照明設備	
コンプレッサ		空気調和施設		再エネ設備	有 無
特記事項					

3. 使用するエネルギー種について

揮発油（ガソリン）		灯油		軽油		A重油	
LPG（液化石油ガス）		LNG（液化天然ガス）		都市ガス		電気	
その他	（ ）						
特記事項							

4. 貴事業所における省エネの取組（運用対策）について

対象設備等	取組の概要

5. 貴事業所における省エネの取組（設備対策）について

対象設備等	取組の概要

6. 課題

--

【 助言等 】

今後の温室効果ガス削減対策推進の参考にしてください。

1	事項		エネルギー種別	
	確認結果		【写真】	
	助言内容			
2	事項		エネルギー種別	
	確認結果		【写真】	
	助言内容			
3	事項		エネルギー種別	
	確認結果		【写真】	
	助言内容			

温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	株式会社藤崎 本館
業種	百貨店・総合スーパー
事業所の紹介	文政2年(1819年)の創業以来、地域の発展に寄与することを第一の使命とし、愛され信頼される百貨店づくりに情熱を注ぎ、愛すべき仙台がもっと素敵な街になるよう、年間を通してさまざまな地域・社会貢献に取り組んでいます。青葉まつりでは、若手社員を中心にすずめ踊りに参加し、また、仙台七夕まつりでは毎年テーマを決めて、オリジナルの七夕飾りを制作するなど、地域のお祭りに積極的に参加し、街の活性化に努めています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	省エネ法に基づく事業者クラス分け評価制度で最高評価の「S」を獲得しています。「藤崎の環境方針-FUJISAKI ECOLOGY」に基づき、省エネ活動、温室効果ガス発生抑制に取り組んでいます。その他、空調機器、昇降機、冷凍機設備等の設備更新の際は省エネを図れるような機種を積極的に採用するようにしています。

取組事例	<p>1. クールビズ、ウォームビズの温度設定周知</p> <p>○取り組み クールビズ、ウォームビズ期間における空調の設定温度について、事業所内の従業員に対し文書で周知を実施しています。月別、外気温度による空調温度設定の考え方を詳しく記載することで従業員が理解し易いように周知しています。 また、期間中の省エネ目標を文書中に明示しており、従業員の省エネ意識の向上を図っています。</p> <div style="text-align: center;"> <p>クールビズ期間で、1階の電力消費量が約4%を削減します。</p> <p>昨年同様、ウォームビズでは電力消費が約10%減りましたが、夏場は全館空調が止まり、電力消費量の削減が難しいと見られる。</p> </div>
------	--

取組事例

2. 蒸気ボイラーの運転業務日誌の整備

○取り組み

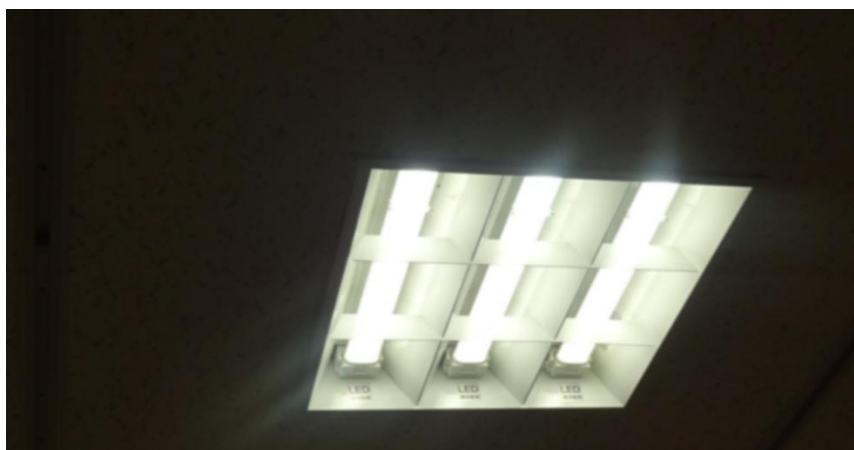
蒸気ボイラーの運転業務日誌が整備されており、ボイラー運転日の蒸発量、使用水量、PH値が管理されています。定期的な水質管理を実施することで不要なブローを抑制しています。

平成 27 年		ボイラー運転業務日誌							
日付	ボイラー	ボイラー			軟水装置		PH値	全ブロー 表示	全ブロー 実施
		稼働時間	1日蒸発量	蒸発%	軟水使用量	使用水量			
7/26	10	10	232.2	6.7	1.2	0	11.4		
7/27	10	10	232.5	6.3	1.2	15.0	11.2		
7/28	10	10			1.2				
7/29	10	10			1.2				
7/30	10	10			1.2				

3. 店舗照明のLED化

○取り組み

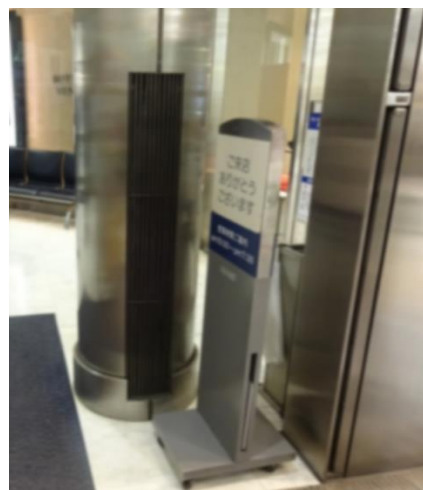
店舗内の照明を順次LEDに更新して省エネを図っています。フロア単位で改装するタイミングに合わせて全面LEDへの更新を行っています。バックヤードの照明についても設備担当者が順次LED更新工事を行って省エネを図っています。



4. 店舗出入口へのエアカーテン設置

○取り組み


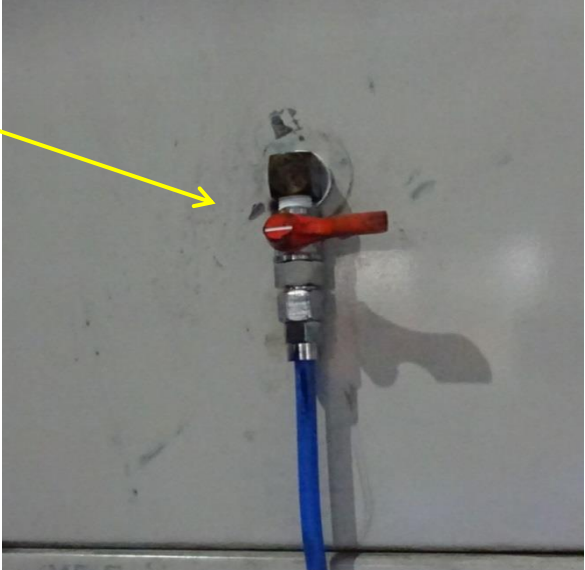
店舗出入口にエアカーテンを設置し、冷暖房の損失低減を図っています。夏季の冷房期には天井から冷気を、冬季の暖房期には出入口の左右から暖気を送り、人の出入りに伴う冷暖房損失を低減しています。



温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	河北新報印刷株式会社 印刷センター
業種	オフセット印刷業(紙に対するもの)
事業所の紹介	平成14年(2002年)3月1日に河北新報印刷株式会社を設立し、河北新報社のモアページ、モアカラー化に対応するための印刷拠点として、印刷センターを建設しました。 明治30年(1897年)1月17日に創刊された「河北新報」を安定発行するための印刷・発送部門を担う施設で、時速17万部印刷の超高速オフセット輪転機を4セット導入するなど先端技術を取り入れました。また、建物は阪神大震災クラスの大地震にも耐えられるように、免震構造を採用しているのが特徴です。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	「地球に優しく、社会貢献・地域貢献」を合言葉に、日頃から環境負荷の軽減に取り組み、省エネの原材料使用、産業廃棄物の回収、リサイクルシステムの確立を目指しています。 社内の環境管理・省エネ推進委員会が取り組んでいる省エネルギー活動に基づき、温室効果ガス発生抑制に取り組んでいます。

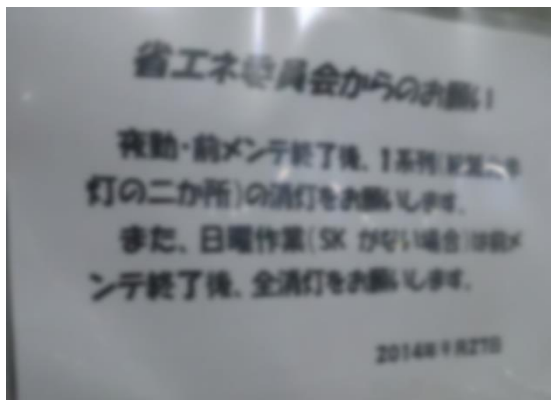
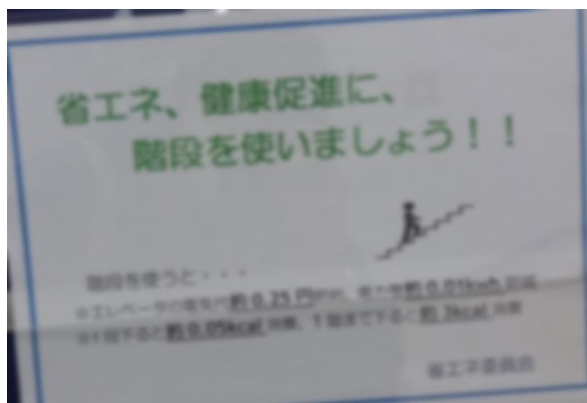
取組事例	<p>1. 圧縮空気の漏洩抑制対策</p> <p>○取り組み エアガンからの圧縮空気の漏洩を抑制するため、エアガンの使用後に元弁を閉止しています。エアガンは使用頻度が高いため、エアガン本体の閉止弁が劣化して圧縮空気の漏洩が発生し易くなっていますが、元弁を閉止して二重ロックすることで圧縮空気の漏洩を確実に減らしています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
------	--

取組事例

2. 省エネ委員会からの省エネ啓発掲示、省エネ教育

○取り組み

事業所内の省エネ委員会から従業員への省エネ啓蒙のため、具体的な省エネ行動の内容を掲示しています。また、省エネ教育の一環として、省エネに係るDVDの視聴を行い、従業員の省エネ意識醸成を図っています。



3. 非常用発電機試運転時間の短縮

○取り組み


月1回行う非常用発電機の試運転について、発電機メーカーに確認のうえ運転上問題ない範囲で試運転時間を短縮し、試運転時の燃料使用量を削減しています。



温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

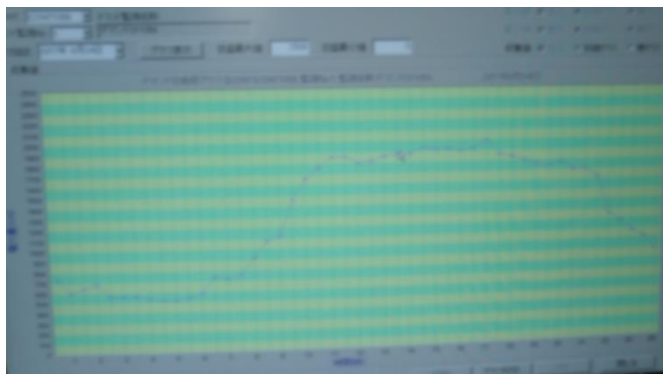
温室効果ガス削減 取組事例

事業所	仙台ターミナルビル株式会社 エスパル仙台店・ホテルメトロポリタン仙台
業種	貸事務所業
事業所の紹介	ホテル事業とショッピング事業を両輪に、東北エリアにおけるフラッグシップ会社として、駅立地を最大限に活用した新しい価値を創造し、お客さまに新たな感動を提供できる「生活サービス創造企業」を目指しています。 平成28年にはエスパル仙台東館が開業し、平成29年6月にはホテルメトロポリタン仙台イーストが開業しています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	お客様の満足が最優先という経営理念に基づき、ホテル事業及びショッピング事業を推進する企業として地球環境の保全と改善に貢献することが社会的責任と考え、全力をあげて取り組んでいます。 BEMS装置の活用等により、日常のエネルギー管理を綿密に行い、計画的に省エネルギー施策を実施することで環境負荷低減の推進をはかります。

取組事例	<p>1. BEMSデータの活用、データの見える化</p> <p>○取り組み BEMSにより収集したデータを活用し、事業所内の空調機等の運転効率化を図っています。空調機にはBEMSによりデマンド、CO₂自動制御を組み込んでいますが、自動制御のみならず現場巡回で得た情報(体感やお客さまの声など)を踏まえて手動制御も行い管理しています。BEMSの計測データ(気温、CO₂濃度など)を見ながら、外気導入量を調整するなど効率的な空調機の運転をしています。</p> 
------	---

取組事例

BEMSで収集した過去のエネルギー使用データを比較し、ピーク時間帯の要因分析を行いピークカットや追加の省エネ対策を実施しています。
また、エネルギー使用量のデータをグラフ化して執務室内へ掲示し、エネルギー使用状況の見える化を図っています。



2. 空調機フィルター交換の適正時期の見極め

○取り組み

空調機のフィルター交換時期の適正化のため、空調機にフィルター差圧計を設置し、フィルターの交換時期の見極めをしています。



温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	日本ファインセラミックス株式会社 本社工場
業種	理化学用・工業用陶磁器製造業
事業所の紹介	創業以来30年以上にわたり新規分野の製品開発に挑戦し続け、はやぶさ2やアスナロ等の宇宙衛星用部品や補助人工心臓等の医療機器部品、大容量に対応した光通信用部品等の製品で社会に貢献しています。 各種の電気特性や放熱性を生かした電子材料用セラミックス、耐熱、耐食、高剛性などの特長を利用した構造用セラミックスや金属セラミックス複合材料(MMC)の技術開発、用途開発を通じ、各種先端産業の様々なニーズにお応えし、先進技術で新たな価値を創造しています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	地球環境と調和し、お客様をはじめとする利害関係者の期待に応え、経営理念の実現を目指す。 品質・環境方針に則り、環境負荷の少ない原材料・部品・製品を購入使用することにより、環境に配慮した製品の開発・設計、ならびに製造を行う。お客様にその製品をお届けすることで、地球環境の保全と循環型社会の構築に寄与する。

取組事例
<p>1. デマンド管理(事業所内でのデマンド表示)</p> <p>○取り組み デマンド監視装置を工場内の3箇所に設置し、デマンドが超過しないように管理を行っています。また、デマンド超過に備え、予め生産ライン毎に停止する設備を決めておき、警報時には順番に設備停止を行うようにしています。</p> <div data-bbox="453 1272 1166 1733" data-label="Image"> </div> <p>2. 歩留り向上のための外部有識者からの社員教育</p> <p>○取り組み 製造工程の最終段階で不良品が発見されると、その製品を製造するために投入した原材料、エネルギー、労働力がすべて無駄になってしまうことから、「不良品を出さない」ことが省エネに最も効果があるとの認識のもと、生産性向上を目的として、外部専門家による生産ラインの改善提案や社員教育を行い、既存の設備で最も効率の高い生産方法を追及しています。</p>

温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	東北電力株式会社 本店
業種	主として管理事務を行う本社等
事業所の紹介	電気事業を中心に、ガス事業のノウハウも活かしながら、東北地域に質の高いエネルギーサービスを提案する「地域と共に歩む複合エネルギーサービス企業」です。昭和26年の創立から、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という基本的な考え方が脈々と受け継がれており、東北地域を代表する企業として、地域活性化に資する活動を多彩に展開しています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	私たち東北電力グループは、「地域社会との共栄」、「創造的経営の推進」という経営理念のもと、環境保全を経営の重要課題のひとつと位置付け、「東北電力グループ環境方針」および「中期環境行動計画」に基づき地域とともに環境への取り組みを着実に進めています。

取組事例

1. 太陽光発電の設置

○取り組み

太陽光発電50kWを設置し、積極的に再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます。



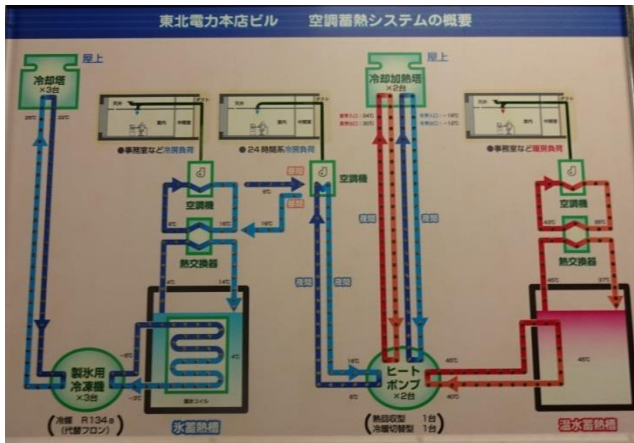
取組事例

2. 空調システムの効率的な運用

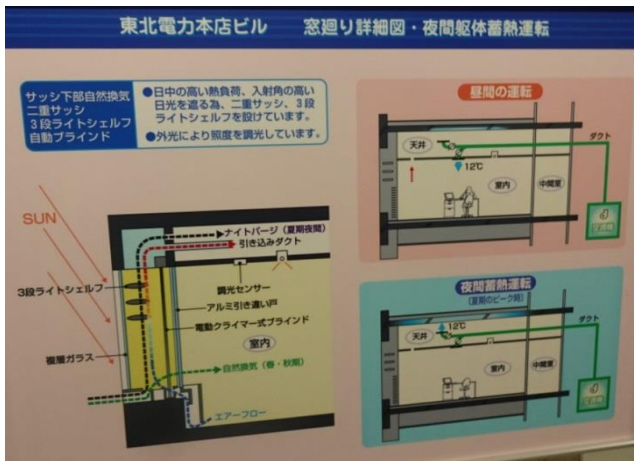
○取り組み

1日の電力負荷の平準化と設備容量削減のため、蓄熱空調システムが導入されています。日中の空調で必要な量の冷熱・温熱を夜間に氷蓄熱槽、温水蓄熱槽、躯体蓄熱槽に蓄熱し、昼間の空調熱源機の運転を低減しています。

さらに、冷房時は氷蓄熱槽の低温冷水を大温度差で利用することにより、冷水の搬送動力を低減しています。



中間期には、昼間の冷房負荷を軽減するため、夜間の低温外気を室内に取り入れています。また、昼間も外気のほうが快適な場合は自然喚起を行い、外気を取り入れています。



温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	宮城県庁舎
業種	都道府県機関
事業所の紹介	現在の県庁舎は、平成元年5月に完成しました。地上18階、地下2階建てで、高さが89.8メートルあります。雨水利用システムやソーラーシステム、空調や照明などの自動監視制御により、省資源・省エネルギーに対応した建物です。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	宮城県環境保全率先実行計画(第5期)に基づき、エネルギー管理標準によるエネルギー管理の徹底、庁舎管理マニュアルによる省エネルギーに関する行動のルール化、再生可能エネルギー・省エネルギー設備の積極導入、及び職員の環境配慮意識の啓発等を推進することにより、温室効果ガス排出抑制を進めています。

取組事例

1. 共用部照明の間引き

○取り組み

廊下等の共用部の照明について、必要な照度を確保したうえで照明の間引きを行い、省エネを図っています。



取組事例

2. 空調の湿度管理

○取り組み

パッケージエアコンを設置しているサーバ機械室等において、以前まで行っていた湿度管理(再熱除湿運転)を、メーカーや関係箇所と調整のうえ取り止めることで、空調の省エネを図っています。



温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	仙台市立病院
業種	一般病院
事業所の紹介	昭和5年2月に開院して以来、80余年にわたり仙台市民の健康増進と福祉の向上に貢献してきました。平成26年11月1日には、あすと長町の玄関口にその象徴の一つとして移転・開院しました。 当院は災害拠点病院として、免震構造の採用や燃料の多重化によるエネルギー供給が図られています。また、救命救急センターを有する高度急性期医療機関として、24時間体制での施設運営を行っています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	仙台市環境行動計画及び仙台市立病院におけるエネルギー使用の合理化に関する取組方針に基づき、年平均1パーセント以上の削減を目標として、省エネ活動及び温室効果ガス発生抑制に取り組んでいます。

取組事例

1. コジェネ排熱の利用向上

○取り組み

コジェネ設備の総合効率を向上させるためには排熱を最大限利用することが重要です。これまで排熱を利用していなかった空調温水(暖房用)に利用できるように配管と熱交換器を増設したことで、排熱の利用率が向上しました。



取組事例

2. 蒸気配管の保温

○取り組み

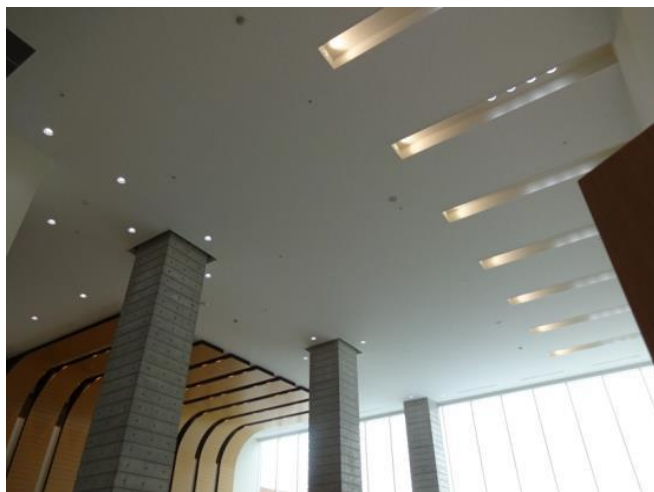
蒸気バルブや蒸気配管の保温の徹底により、熱損失の低減を図っています。



3. 照明の集中制御

○取り組み


照明はスケジュール管理により点灯・消灯を制御しています。季節に応じて点灯・消灯するように設定するなど、照明点灯時間の短縮を図っています。また、共用部の照明については照度センサーによる調光を行っています。



温室効果ガス削減計画書制度モデル事業

温室効果ガス削減 取組事例

事業所	仙台市中央卸売市場食肉市場
業種	他に分類されないサービス業
事業所の紹介	昭和50年7月に全国で10番目に開設された東北では唯一の食肉中央卸売市場で、東北における肉畜の生産と流通の重要な拠点として、社会的、公共的な使命をはたしています。
地球温暖化対策、環境活動の方針など	と畜場法施行規則の遵守と省エネ活動の両立を図っていきます。

取組事例
<p>1. 照明、空調の停止チェックシート整備</p> <p>○取り組み 照明と空調の消し忘れ防止のため、最終退出者が消灯と空調停止を確認のうえチェックシートに記入をしています。その結果を責任者が確認することで、職員への省エネ行動の定着を図っています。</p>


取組事例

2. 省エネ意識向上の掲示

○取り組み

冷凍庫の扉の閉め忘れを防止するため、冷凍庫扉等に注意文書を掲示し、職員の省エネ意識向上を図っています。

